



やらまいか

例会日：毎週火曜日 12：30 例会場：豊川商工会議所
 会長：大岩一仁 幹事：夏目雅康 SAA：大島嗣雄 会報委員長：太田 稔
 事務局：豊川市豊川町辺通 44 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889
 ホームページ <http://toyokawahoi.tank.jp> Email hoirc@sala.or.jp

本年度第1回 通算1072回 平成20年7月1日(火) 晴

ゲスト (なし)
 ビジター (なし)
 出席報告 川渕啓治委員長

会員総数	計算会員数	本日の出席者数	本日の出席率	6/17修正出席率
53名	43+5名	36名	75%	100%

司会進行 大島嗣雄 SAA

★榎の引継ぎ ★バッジの交換

例会に先立ち、直前会長から大岩新会長に榎が引き継がれました。



★会長就任あいさつ及び報告

大岩一仁会長

いよいよ今日の日が来ました。非常に緊張しています。本年度の第一例会が7月1日で、最終例会が6月30



日になります。まるっと一年間、会長をさせて頂けるということで、大変光栄に思っています。

まず、会長報告として、うれしいことに新入会員候補者の推薦がありました。豊川信用金庫の専務理事の半田さんです。本日の理事会で承認されましたので、皆様のところへ文書で案内がされると思いますので宜しくお願いします。また、親睦委員会が第1回のイベントとして、ラグーナ蒲郡でハワイアンホームパーティを企画してくれました。第1回目ですので、多数の会員の皆さん、奥様をお誘いの上、ご参加下さる様にお願いします。

それでは、就任のあいさつをさせていただきます。この度、豊川宝飯ロータリークラブの第24代目の会長を仰せつかりました大岩です。本年度のRI会長のテーマは「夢をかたちに」。片山地区ガバナーの地区方針は「持続可能な前進!!」です。そして、本年度のクラブテーマは、「例会に出席しよう」です。ロータリーの基本は例会に出席をすることです。私も入会当時に、当時の豊川ロータリーの先輩方から、例会出席の重要性を何度も言われました。

地区協議会の時に、片山ガバナーが、サブテーマとして「出席と親睦と奉仕と」を発表されました。「ロータリーの目的は奉仕であり、奉仕は親睦から生まれ、親睦は出席、参加より始まる」と言っています。毎週の例会

に出席をして、会員同士の友好を深め合いましょ。そしてこの会場を情報交換の場として活用して頂きたいと思ひます。そして、その次に奉仕活動が生まれてくると思ひます。例会に出席をして、もう一度ロータリーを勉強しましょ。

いずれにしましても、力不足の会長です。夏目幹事、理事、役員の方のご協力を頂きながら、一年間、会長の職務を全うしたいと思ひます。皆様方のご理解、ご協力、ご指導をよろしくお願ひ申し上げまして、簡単ですが、会長の就任のあいさつに代えさせて頂きます。一年間よろしくお願ひします。

★幹事就任あいさつ及び報告

夏目雅康幹事

ウィークリー：蒲郡RC

例会臨時変更のお知らせ

蒲郡、豊橋北、豊橋南、豊橋東、豊川、豊橋ゴールデン、豊橋RC

こんにちは。本年度、幹事を仰せつかりました夏目でございます。宜しくお願いします。



本年度は、チャーターメンバーである大岩会長のもとで、幹事を仰せつかりまして、緊張をしております。私もロータリー歴が22年になります。この22年間の先輩諸氏の教えを精一杯守っていきたく思ひます。会長方針である「例会に出席しよう」の忠実に従い、皆さんと共に、豊川宝飯ロータリークラブを一生懸命盛り上げて、素晴らしい例会にするように頑張りたいと思ひます。

本年度のRI会長のテーマ「夢をかたちに」という言葉は、私のとても大好きな言葉でございます。子ども達をはじめとする地域の様々なことに、クラブをあげて奉仕をして、皆さんと共に目標を作っていく、形あるものにしたいくと思ひますので、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

ロータリーの例会には、何のために出席をするのか、私が22年間ロータリーの例会に出席して思ってきたことは、ロータリー会員は、

オーナーが多いです。とかくオーナーは、自分本位なところがあります。このロータリーの例会は、先輩方の生き様を見て、良いところ悪いところの勉強していくところだと思ひています。その勉強させてもらったことを生かして、大岩会長の一年間の航海が無事できるように支えて参りたいと思ひております。皆さんよろしくお願ひします。

★委員会報告

ゴルフ同好会（林博宣幹事）

第1回コンペ開催について

★理事役員の就任あいさつ

○青木恒義副会長

こんにちは。副会長というお役を拝命いたしました。大岩会長さんの補佐として出来る限り協力をしたいと思ひております。



どうぞ宜しくお願い致します。実は副会長は2回目になります。昨年は、選挙管理委員の関係や、永平寺のことから豊川高校の80周年の関係で欠席が多かったです。大岩会長のテーマが「例会に出席しよう」です。この方針を肝に銘じまして、これからは、なるべく出席をさせて頂き、皆さんとお話をさせて頂き交流を図らせて頂きたいと思ひております。

○水野太一会長エレクト

大変緊張をしております。私はゴルフしか知らない男でございます、このような大役に緊張をしております。



1年間、大岩会長さん夏目幹事さんの下で勉強をさせて頂き、来年度しっかりできるようにしたいと思ひております。よろしくお願ひします。

○井指光基直前会長

昨年度は大変ご協力を頂きまして大変ありがとうございました。今の大岩会長をみていますと、一年前の自分を思い出しました。直前会長として本年度の理事会に協力をさせて頂きたいと思っております。よろしくお願いします。



○安藤佳和副幹事・プログラム委員長

大岩丸の一員として今日から出航させて頂きます副幹事とプログラム委員長をさせて頂きます安藤です。よろしくお願いします。一年という航海を短い航海にするか、長い航海にするのか、毎週毎週の例会を担当するプログラムとして、大変な仕事を仰せつかったと思っております。大岩会長が、「例会に出席しよう」というテーマをあげてくれました。皆さんが出席したい例会、そして興味を持つ例会にしなければ、出席をしようという気持ちになって頂けないと思っております。私たちの委員会は、皆さんの声を聞きながら理事役員の皆さんと例会プログラムを考え、そしてSAAと共に例会を作っていくと思っています。よろしくお願いします。



○岩瀬靖宏会計

会計という大役を仰せつかりました岩瀬です。会長さんには、このような大役にご指名下さったことに感謝致します。副委員長は、後藤先生です。過日の理事役員会におきまして、事業計画書の予算案が承認を頂きましたので、お目通しを頂きたいと思っております。各委員会がこの予算を最大限に活用されることを期待しております。



○林博宣職業奉仕委員長

職業奉仕委員長を仰せつかりました林です。4月の地区協議会で職業奉仕分科会に出席をして勉強をさせて頂きました。「職業奉仕はロータリーの原点である」という話とともに、「職業奉仕は難しい」と言われました。8月に地区の委員会があるそうなので、そちらで勉強をして参りまして、委員会事業を行って参りたいと思っております。



○小野喜明国際奉仕委員長

国際奉仕を担当させて頂きます小野です。国際奉仕委員会は、RI会長方針の水保全、保険・飢餓救済、識字率向上の中で、特に識字率向上について取り上げたいと思っております。永田会員が取り組んでいるスリランカの子供達の学校の建設運動について勉強させて頂きたいと思っております。第二の計画として、内なる国際化として、豊川市国際交流協会と協力をして、地域に住む外国人居住者への支援、子供達の教育問題について取り上げたいと思っております。どうぞよろしくお願いします。



★ニコニコボックス

- ◎誕生日祝い
笠原盛泰会員
- ◎事業所創業祝い
岩瀬 保会員 (有)岩瀬ばら園
岩瀬靖宏会員 "
内藤泰通会員 (有)小松屋商店
笠原盛泰会員 (株)ハクゾフ データシステム
- ◎入会記念日祝い
宮崎眞一会員
星川佳伸会員
水野太一会員
小田伊佐浩会員

◎その他

大岩一仁会員 一年間宜しく申し上げます
理事役員一同 〃
夏目雅康会員 元気なモノづくり企業に
選ばれ
岩瀬靖宏会員 事業所創業を祝って頂き
水野太一会員 入会記念日を祝って頂き
近田邦満会員 最終例会に利用して頂き
波多野四郎会員 所要にて途中退席します

ロータリー情報

ロータリーに関する情報を引き続き掲載していきます。
今回は、新年度第1回目なので、李東建国
際ロータリー会長の挨拶です。

親愛なるロータリアンの皆さん、

新しいロータリー年度の始まりは、クラブや地区の新しい役員、共に活動するための新しいテーマ、私たちの奉仕プロジェクトに対する新たな決意と相俟って、いつも心が弾む時期です。

特に、私にとって今年度の始まりは、世界各地のロータリアンたちと出会ったり、皆さんが実施されている注目に値するさまざまなプロジェクトを直接目にする事ができるという期待感でいっぱいです。

毎日多くの子どもが亡くなっていく現実

皆さんのクラブ、あるいは皆さん自身が、どのようにして「夢をかたちに」しようかと考えるとき、夢を見る機会すらない子どもたちが何百万といるということも考えてください。毎日、2万6,000人を超える5歳未満の子どもたちが、本来なら防ぐことができるはずの原因で亡くなっています。この数字自体が十分に恐ろしいものですが、それでも最初に私の関心を引きつけこの問題をロータリアンの重大関心事にしようとして私が駆り立てられた当時の、1日3万人という状態からみると少なくなってきたはいるのです。

ユニセフの『世界子供白書 2008』では「2006年、地球規模でみた子どもたちの年間死亡数は、最新の確定予想数値によると、統計を取り始めて以来はじめて1,000万人

を切り、970万人に下がった」と報告されています。

ロータリーのプロジェクトが子どもを救う
子どもの生存率が向上したうちのいくらかは、保健、飢餓、水、それに識字率向上に関する問題など長年にわたり取り組んできたロータリーのプロジェクトが功を奏したのだろうと私は思っています。そこで私は自らに問いかけました。「もし、120万のロータリアンたちの奉仕の努力をもっと子どもたちの生存維持に向ければどうなるだろう」と。

私は、その答えのいくつかをすでに私たちはもっていると考えています。もし、ロータリアンたちが防虫加工された蚊帳を提供すれば、マラリアで死ぬ子どもは減るでしょう。もし、私たちが井戸を掘り、衛生問題と取り組めば、子どもたちはきれいな水を飲むことができ、もっと衛生的な環境を保つことができるでしょう。

そして、もし、ロータリークラブが効果的な栄養補給プロジェクトを実施すれば、私たちは1年間に栄養失調で亡くなるほぼ500万人の子どもたちの何人かは救うことができるのです。

子どもたちに夢をもつ機会を与える

ユニセフは2006年度の死亡者970万人の3分の2は、未然に防ぐことができたと推計しています。ロータリアンがワクチンや経口補水療法を施したり、母親と新生児のために健康を管理したり、そのほか比較的単純な方法で、より多くの乳幼児たちが生き残れるだけでなく、健康で生産的な生活を続けられるものと確信しています。

これらの子どもたちに、成長し自分自身の夢をもてる機会を与えることによって、「夢をかたちに」しようではありませんか。

会報担当者：太田稔会員、樺山修一会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。